

理系
講座

地球環境の今—陸、海、空から

presented by 北海道大学大学院環境科学院

河川生態学、海洋生物地球化学、動物生態学、植物生態学の分野から地球環境を考えます。

開講日／9月～12月の第2・第4木曜 午後6時半～8時 全8回

開講場所／北海道大学大学院環境科学院 2階D201教室(札幌市北区北10条西5丁目)

定員／100名

根岸 淳二郎 准教授 [河川生態学]	9月13日 地下から河畔への命のつながり	地下、河川、そして陸へと命はつながっています。身近な河川を「命のつながり」という視点で研究した最新の成果を紹介します。
	9月27日 サケの産卵と河川環境	札幌を流れる豊平川は、大都市の川でありながらサケが遡上する稀有な川。その豊平川で、サケは産卵場所をどうやって決めるのでしょうか。最新研究で謎が明らか。
鈴木 光次 教授 [海洋生物地球化学・ 生物海洋学]	10月11日 広い海の大きな役割	地球表面の約7割を占める海洋。人間を含めた生物の営みや気候の安定などに海洋は大きな働きをしています。意外に知らない海洋について概説します。
	10月25日 海洋の物質循環・生態系と地球環境変化	海には様々な生物が生息し、海水中の物質は形や存在量を変えながら、絶え間なく循環しています。この壮大な海洋の中を探ることで、地球環境の変化が見えてきます。
小泉 逸郎 准教授 [動物生態学]	11月 8日 動物たちの恋人えらび	浮気、乱婚、騙しあい。シジュウカラやヤツメウナギを例に動物たちの赤裸々な恋のバトルを紹介します。
	11月22日 人生の分岐点:サケはこう決める!	人生は選択の連続です。一部のサケでも海に降りるか一生を河川で過ごすか大きな選択をします。その意思決定のお話です。
工藤 岳 准教授 [植物生態学]	12月13日 高山植物の生きる術	寒冷・多雪な厳しい高山環境の中で進化を遂げてきた高山植物。驚くべき生存戦略を紹介します。
	12月27日 地球温暖化と高山生態系	高山帯は地球温暖化の影響を最も受けやすい生態系です。その兆候と予想される影響について解説します。

文系
講座

ワールド・カルチャー・マップ—時空を越えたヒト・モノ・コト

presented by 北海道大学大学院文学研究科

文学研究科の歴史学研究者とともに、時空を越えた人の営みを知り、歴史を学ぶ喜びを共有しましょう。

開講日／9月～12月の土曜 午後1時半～3時 全8回

開講場所／北大道新アカデミー講義室(札幌市中央区大通西3丁目6 道新北1条館2階)

定員／50名

谷本 晃久 教授 [日本近世史、 北海道地域史]	9月 1日 松前から京へ ～「夷酋列像」の天覧～	西暦1790年、松前藩の家老が描いた「夷酋列像」という絵画作品が、松前から京都に持ち込まれ、光格天皇がご覧になります。その背景を考えます。
	9月22日 蝦夷通詞の転勤 ～幕府天文方への人事異動～	松前生まれのアイヌ語通訳・上原熊次郎。ゴロウニンの通訳を務めるなど松前・蝦夷地で活躍したのち、異例の江戸転勤を命ぜられます。その理由とは?
太田 敬子 教授 [中東社会史]	10月 6日 十字軍と東地中海世界1 ～巡礼と聖地奪回の旅～	聖地奪還を目指した第1回十字軍から第3回十字軍にかけての東地中海を巡るヒト・モノの移動や文化の交流の歴史をたどり、その影響を解説します。
	11月 3日 十字軍と東地中海世界2 ～十字軍のエジプト遠征～	中東イスラーム世界の中心地としてエジプトを目標とした十字軍遠征の経緯をたどり、それらに伴うヒト・モノの移動や交流を解説します。
佐藤 健太郎 准教授 [中東イスラーム史 (西地中海地域)]	11月17日 スペインに到来した イスラーム文明	711年、スペインにはムスリム征服者の到来とともにイスラームとアラビア語が伝わります。この結果、どのような社会が形成されたのかをお話します。
	11月24日 スペインから消え去った イスラーム文明	1492年、スペイン最後のイスラーム王朝が滅びます。この結果、かつてのムスリム住民や彼らの文化がどうなったのかをお話します。
橋本 雄 准教授 [日本中世史、 東アジア海域史]	12月 8日 琉球の首里と那覇を描く ～内からの視点、外からの視点～	首里城や那覇港、中国から帰国する進貢船などを活写した屏風などの絵画作品。いったい誰が何のために描いたのでしょうか?
	12月22日 名前が変わる、国籍が変わる ～歴史的文化的ライフ・ヒストリー～	時空を越えるなかで、名前や国籍が変わってしまう文化財は少なくありません。今あなたが見ているそれは、果たして何ものなのか?